



# うさぎぐみだより 4月

吹き抜ける風が心地よく、戸外での活動が気持ちいい季節になりました。子どもたちは、園庭の築山を元気に走り回って保育者と追いかけて楽しんでます。



## 『ちゅーりっぷしゃーりっぷ』



先日、『ちゅーりっぷしゃーりっぷ』のわらべうたをしました。遊び方は、友達と手をつなぎ、輪になって歌いながら歩きます。歌の終わりに「〇〇ちゃんおはいいり」で名前を呼んでもらって輪の中に入って交代します。



子どもたちは名前を呼ばれると「やった～、〇〇や」とうれしそうにジャンプしながら入ったり、はずかしそうに照れながら中に入ったりしていました。中に入っている子は、みんなの顔が見えるのがうれしい様子です。歌の終わりが近づくと次は自分かな!？と、わくわくしながら保育者の顔を見て、歌っている声に耳をすませていました。



わらべうたをきっかけに、友達とのふれあいが楽しいと気付いてもらえるように、子どもたちと一緒に遊んでいこうと思っています。



## あれ?おかしいな? ～こまった時にはこうしよう!～

4月になり、どんな友達と遊ぶのかな?楽しい歌をきかせてくれるかな?などドキドキして新年度を迎えられたのではないのでしょうか?そろそろ園の生活にも慣れ始めたころですが「あれ?こんなはずではなかった?」と首をかしげてしまうような困ったこともでてきたのではないのでしょうか?



### みんな、元気にいたいですね

仕事が終わりに、やっと大好きな子どもに会える～と思い、迎えに来てはみたが…園で緊張の中頑張っている子どもたちは保護者の方の顔を見るなり、甘えたりぐずったり、困らせているのではないのでしょうか?仕事に家事に育児に、いろんなことをしないとけない保護者の方は毎日帰宅後てんてこ舞いになっているのではないかと思います。

週末に夕食の下準備をしておく、レトルトや総菜をうまく利用するなど、夕方時間をうまくやりくりしたり、子どもと一緒に就寝したり、保護者の方がご自身をいたわることが子どもへのおだやかな関わりにつながりますよ。

### どうしてけんかするのだろう?

2歳児は友だち関係を広げる一方で、自己主張のぶつかり合いが多くなり、噛みつき・ひっかき等のトラブルも多い時期です。しかしそれは「自我の芽生え」や「他人との関わり」が大きく成長している証でもあります。

友達とのトラブルが多い今の時期に大切なことは、子どもが自分の思いを受け止めてもらうことです。その過程で、自分自身を肯定し、相手への思いやりが育ちます。私たち大人は、受け止め役・仲立ち役を担うことが重要です。